

第1回「山の日」記念全国大会 基本計画

平成28年1月8日

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

目 次

	頁
I はじめに	1
II 推進体制	1
III 大会概要	
1 開催意義	2
2 大会理念	3
3 大会テーマ及びシンボルマーク	3
4 開催概要	4
IV 記念式典計画	
1 記念式典の概要	5
2 式典会場整備計画	6
V 記念行事計画	
1 レセプション	7
2 「山」に関する国際的な会議の開催	7
3 「山」に関する音楽、映像、研究成果、取組等の発信	8
VI 関連事業・広報計画	
1 関連事業の基本的な考え方	9
2 広報計画の基本的な考え方	9
参 考	
1 開催地の概要	10
2 山の日制定の背景	11

I はじめに～「山の日」制定の経過～

「山の日」は、「国民の祝日に関する法律」（昭和 23 年法律第 178 号）に規定される 16 番目の国民の祝日として誕生しました。

【「山の日」の概要】

趣 旨：山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する。
期 日：8月11日
制 定 日：平成 26 年 5 月 23 日(施行日：平成 28 年 1 月 1 日)

平成 27 年 5 月に開催された全国「山の日」協議会総会において、第 1 回の記念全国大会が長野県松本市上高地で開催されることが決定され、同年 10 月に長野県と松本市が協力し、松本市安曇支所に「山の日記念大会推進室」が設置されました。なお、制定にあたっては、国会議員による超党派「山の日」制定議員連盟と全国「山の日」制定協議会がまさに車の両輪として御尽力いただきましたことをここに称します。

II 推進体制

この大会の運営は、15 の関係機関からなる「第 1 回『山の日』記念全国大会実行委員会」が行うこととし、計画の策定及び予算案の協議・承認、大会当日の実施本部の運営、広報活動等を担います。また、山に関する様々な団体及び企業等の協力を募るとともに、全国知事会等地方 6 団体にも後援を依頼し、国全体で「山の日」の制定を祝う機運の醸成に努めます。

【実行委員会の構成員】（敬称略）

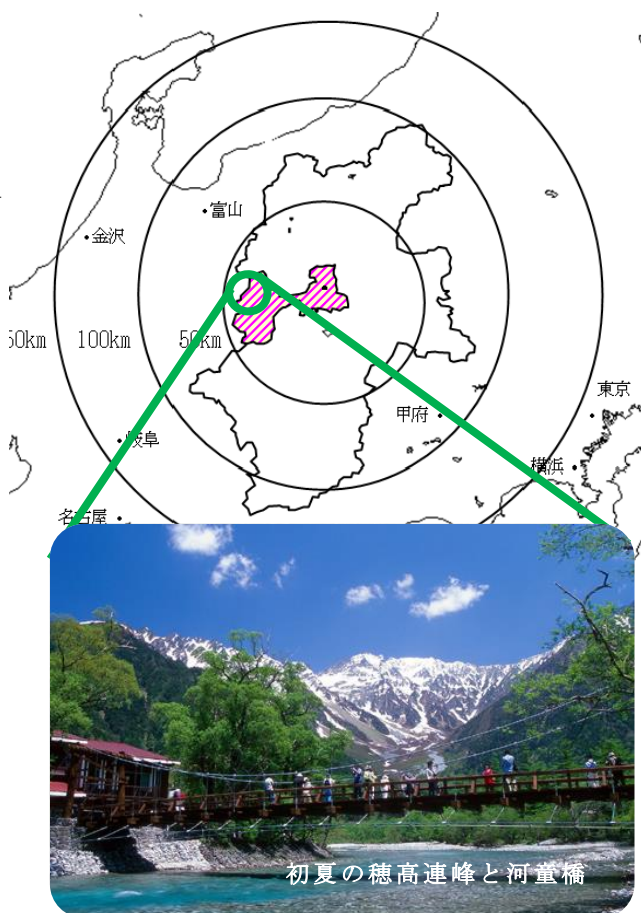
名誉顧問	谷垣禎一(全国「山の日」協議会長、国会議員)
顧 問	安藤宏基(全国「山の日」協議会副会長、日清食品ホールディングス(株)代表取締役 CEO)
顧 問	衛藤征士郎(超党派「山の日」議員連盟会長、国会議員)
名誉会長	阿部守一(全国「山の日」協議会顧問、長野県知事)
実行委員会会長	菅谷昭(松本市長)
” 副会長	松沢哲郎(全国「山の日」協議会副会長、京都大学教授)、中島恵理(長野県副知事)、坪田明男(松本市副市長)、上條敏昭(上高地町会長)
” 委 員	河合潔(警察庁長官官房審議官)、横田真二(消防庁国民保護・防災部長)、徳田正一(文部科学省大臣官房審議官)、木村徹也(スポーツ庁審議官)、本郷浩二(林野庁森林整備部長)、西山幸治(国土交通省砂防部長)、加藤庸之(観光庁観光振興部長)、奥主喜美(環境省自然環境局長)、奥原宰(上高地観光旅館組合長)
” 監 事	山田直(北アルプス山小屋交友会会長)、小日向義夫(松本市アルプス観光協会会長)

Ⅲ 大会概要

1 開催意義

長野県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県であると同時に、「日本の屋根」と称される南北・中央アルプスを有し、全国に23座ある3,000m峰のうち15座^{*1}を有する日本一の山岳県でもあります。このうち、松本市には、槍ヶ岳や穂高連峰、乗鞍岳など9座の3,000m峰があり、あわせて稜線に開けた台上を持つ美ヶ原に代表される深田久弥の日本百名山が6座あるなど、まさに日本を代表する山岳都市「岳都」です。

とりわけ上高地は、我が国の近代登山の発祥の地と言われ、英国の登山家であるウォルター・ウェストン(英国(宣教師・登山家)1861～1940)によって全国屈指の山岳景勝地として世界への扉が開かれ、また、中部山岳国立公園、国の特別名勝、特別天然記念物にも指定されており、年間約130万人の観光客が国内外から訪れています。このように、我が国の「山」の中心ともいえる場所で、世界で初めて「山」を対象とした祝日の制定を祝う行事を開催することにより山の魅力や価値と合わせて、山とともに生きていくことの大切さを山岳県信州・岳都松本から世界に向けて発信する機会としてまいります。



【上高地データアラカルト】

- 標高 河童橋付近：1,500m
- 山 奥穂高岳：3,190m、前穂高岳：3,090m、槍ヶ岳：3,180m、涸沢岳：3,110m、
焼岳：2,455m、西穂高岳：2,909m、明神岳：2,931m 霞沢岳：2,931m
- 平均気温 -8℃(冬季)～20℃(夏季)程度
- 野生生物 ケショウヤナギ、ハルニレ、シラビソ、ニリンソウ、ニホンライチョウ、オコジョ、ニホンカモシカなど

2 大会理念

わが国は国土の約7割を変化に富んだ山地が占める「山の国」です。日本人は古くから山を崇め、森の恵みを享受し、自然とともに生きてきました。

この美しく豊かな自然を守り、次世代へ引き継ぐことを銘記するため、8月11日が国民の祝日「山の日」として制定されました。

こうしたことを踏まえ、初めての祝日「山の日」を祝う行事となる第1回「山の日」記念全国大会は、次の理念により開催します。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という「山の日」制定の趣旨に対する国民の関心を高め、浸透を図ることで「山と人」との関わり方を見つめ直す機会とします。

山とともに生きていくため、山に関する歴史や文化の継承、自然体験の機会の創出、環境保全、観光振興、健康増進、山岳遭難や自然災害への対応など様々な課題の解決に向けた施策の展開に繋げ、山村及び山岳地域の活性化を図る契機とします。

「山」に関わるあらゆる分野の皆様と連携し、国民の皆様とともに、世界に誇る「山の日」制定にふさわしい大会として、清流梓川の流れる上高地から、国内外へ発信し、子供たちと一緒に「山の未来」を創造して次代へ引き継ぐ第一歩の日とします。

世界で初めて「山」を対象とした祝日を制定したことから、日本人の山に対する向き合い方、考え方などについて、山岳県信州・岳都松本から国内はもとより世界に発信するとともに、「山」に関する国内外の幅広いネットワークを構築する機会とします。

3 大会テーマ及びシンボルマーク

長野県松本市上高地で開催することの意義や「山と人」との関わりを通じた、山の価値の向上や魅力の発信という大会理念を国民の皆様にはわかりやすく伝えていくため、大会テーマ及びシンボルマークを作成します。

4 開催概要

(1) 開催期日

平成 28 年 8 月 10 日(水) レセプション
平成 28 年 8 月 11 日(木)祝日 記念式典及び記念行事

(2) 開催場所

長野県松本市上高地及び松本市内（荒天時：松本市内）

(3) 主 催

第 1 回「山の日」記念全国大会実行委員会

(4) 行事概要

私たちが世界に誇るべき「信州の山」の魅力や価値を最大限活かし、上高地を中心にお越しいただく皆様と国内外の多くの方々に「山の日」制定の趣旨を広く浸透を図るとともに、「山と人との関わり」を通じ、山の歴史・文化や今起きている様々な課題、そして「山の未来」のあり方について、記念式典及び記念行事等において提言していきます。

- ① 8月10日(水) レセプション
・記念式典等にご招待する皆様に歓迎するレセプションの開催
- ② 8月11日(木)祝日 「山の日」記念式典
・「山の日」宣言、「山」への感謝を表す行事、音楽演奏、市民参加による行事等
- ③ 8月11日(木)祝日 他 「山の日」記念行事
・山に関わる各国大使及び関係機関等による「山」に関する国際会議の開催
・山に関する音楽、映像、研究成果、取組等の様々な情報を発信

(5) 開催規模

「山の日」記念大会全体を通じて、多くの皆様の参加をめざし、国民の皆様及び国外へも広がりのある大会とします。

【招待者計画】

国関係者、長野県・県内市町村関係者、山岳等「山」関係者、「山」に関わりの深い各国大使、長野県及び松本市の姉妹提携国(都市)の皆様、ご協賛・ご協力いただく企業・団体の代表者 など



IV 記念式典計画

1 記念式典の概要

(1) 基本的な考え方

- ① 日本が世界に誇るべき財産である山とその恩恵に感謝し、「山と人」との関わりを通じ、山の価値や魅力を国内外に発信していく式典とします。
- ② 式典では、先人が育んできた歴史と文化を通じ、山と人が抱える課題を正面から見つめ直し、山と人の明るい未来を、次代を担う子供たちへと継承していくことを目的とします。
- ③ 式典は、世界で初となる「山」を対象とした祝日の制定趣旨を具現化するものとして、日本を代表する山岳景勝地である上高地会場を中心に、長野県民、松本市民をはじめより多くの方に親しみ祝っていただけるよう松本市内会場とで一体的に開催します。
- ④ 「山」を対象とすることを踏まえ、質素で厳粛かつ品格のあるものとします。

(2) 開催日

平成 28 年 8 月 11 日(木)祝日

(3) 式典会場

長野県松本市上高地及び松本市内

(4) 参集範囲

国関係者、県・市町村関係者、山岳関係者、一般参加者等

(5) 式典演出計画

【上高地会場】

- ・「山の日」制定の趣旨を具現化し、「山と人」をテーマに歴史・文化から学び、未来へとつなげていくメッセージを国内外に発信します。

【松本市内会場】

- ・県民、市民及び多くの方が「山の日」制定を祝い、参加者一人ひとりが「山」について考え、今から始める「山」との新しい関係構築を図る機会とします。

2 式典会場整備計画

(1) 基本的な考え方

- ① 全ての参加者が安全・快適に式典に参加できるよう配慮します。
- ② 国民の祝日「山の日」制定の意義を具現化するとともに、土地の形状変更等による自然環境への負荷を最小限に抑えます。
- ③ 構造物は既存のものを最大限に活用し、新たな設置については関係法令を遵守し、仮設設備については必要最低限かつ県産木材などを活用したものとします。

(2) 式典会場の配置

上高地会場については、その自然環境を最大限活用し、上高地開催の意義を存分に感じていただける会場づくりを行うとともに、松本市内会場については、参加者が「山」を疑似体験できる会場づくりを行います。

(3) 中継計画

式典会場と、県内JR主要駅、銀座NAGANOなどの県外拠点を全国のケーブルテレビ等による実況中継映像で結び、全国規模で発信します。

(4) 装飾計画

- 式典会場の装飾は、周囲の自然環境との調和を図りつつ、招待者の円滑な導線が確保できるように設置します。
- 式典会場のメイン装飾については、上高地の流木を活用します。

(会場イメージ図)



参考例 1 : 流木のオブジェ



参考例 2 : 情報提供用案内板

V 記念行事計画

1 レセプション

(1) 基本的な考え方

- 式典への招待者を歓迎し、参加者の懇親を深める場とします。
- 山岳県信州・岳都松本ならではの、「山の恵み」を振る舞い、歴史と文化を実感してもらいます。

(2) 開催日及び会場

平成 28 年 8 月 10 日(水) 松本市内

(3) 参加者(案)

- ・ 各国大使、国務大臣(関係省庁)、山の日議連代表者、次期開催地関係者
- ・ 県選出国會議員、県・市議會議員、山岳関係団体・協賛企業関係者
- ・ 主催者(長野県知事及び松本市長、実行委員会関係者等)

(4) 演出計画

県内の「山の恵み・山の幸」をふんだんに取り入れ、一つ一つの食材に歴史と文化が感じられる演出を行います。

2 「山」に関する国際的な会議の開催

(1) 基本的な考え方

- 2001年(平成13年)に松本市で開催された世界岳都都市会議で採択された「松本宣言」や翌年の「国際山岳年」での国際的な議論を踏まえ、我が国の「山の日」制定を記念し、世界に向けて「山の日」の意義と日本の山の魅力・価値を発信していく機会とします。
- 「山」に関わる各国大使及び我が国の「山」の関係者が集い、「山と人との関わり」を通じ、現状及び課題を議論し、「山の未来」のあり方についてメッセージを提言します。
- 会議で採択されたメッセージを「山の日」記念式典で世界に向けて発信します。

(2) 開催日

平成 28 年 8 月 10 日(水)又は 11 日(木)

(3) 参集範囲

- ・「山」に関わりのある各国大使
- ・国及び山岳関係団体関係者
- ・学識経験者及び有識者
- ・主催者

(4) 会議概要

- ・各国における「山」を取り巻く現状及び課題のスピーチ
- ・我が国の「山の日」制定を記念する「山の未来」メッセージの提案

3 「山」に関する音楽、映像、研究成果、取組等の発信

(1) 基本的な考え方

- 上高地に訪れている観光客等を対象に、上高地をはじめとする信州の山の魅力を存分に楽しんでいただく行事を国機関及び関係団体等の協力により開催します。
- 上高地の自然環境を活かした演出を行います。

(2) 開催日時及び会場

平成 28 年 8 月 10 日(水)及び 11 日(木) 上高地及び松本市内

(3) 演出計画

山にちなんだ音楽祭、映画祭の開催、山岳環境等をテーマとした研究成果の発表、各国の山岳情報の発信等

VI 関連事業・広報計画

1 関連事業の基本的な考え方

関係省庁や全国「山の日」協議会と連携し、全国各地で開催される「山の日」の制定を記念した行事の情報発信に取り組みます。

また、長野県内においては、平成28年7月15日～8月14日までの「信州 山の月間」中に県及び市町村等が行う「山」関連行事において、国民の祝日「山の日」の周知に取り組みます。

こうした取組を通じて、国全体で「山の日」制定を祝う機運の醸成を図ります。

2 広報計画の基本的な考え方

「山の日」の制定趣旨や大会の開催理念等を広く周知するとともに、山岳県信州、岳都松本の景観や山岳文化等の魅力を国内外に発信します。

〔 専用HPの開設、政府広報、WEB広告、銀座NAGANO等での情報発信、ポスター作成、各種メディアの活用等 〕

【参 考】

1 開催地の概要

山と水と緑とが、絶妙のバランスで作りあげた、類まれな景観を誇る

上高地

上高地は標高 3,000m の槍・穂高連峰、霞沢岳、焼岳など峻険な山々に囲まれ、中央を流れる標高約 1,500m の梓川に沿って緩やかに開けた盆地状の溪谷全体を、「上高地」と呼んでいます。



【地形の成り立ち】

この槍・穂高連峰は、140 万～80 万年前の北アルプス隆起運動により、標高 1,000m 程度だった槍穂高カルデラが 3,000m まで持ち上げられ、さらに 6 万年前と 2 万年前の氷河が岩を削り、現在の鋭角な山容を形成したものです。

さらに、上高地の盆地状の平坦地は、かつて岐阜県側を流れていた梓川が 1 万 2 千年前の焼岳の火山活動によって堰きとめられてできた湖が急峻な山稜の浸食作用から発生した大量の土砂により埋まってできたものです。現在も梓川の本川・支川で土砂の浸食・移動・堆積が続いています。

【近代アルピニズムの発展】

上高地は、江戸時代の修行僧・播隆による槍ヶ岳開山により明治（1867 年）以降、ガウランドやウェストンによる先駆的な登山をはじめとした近代アルピニズムが発展する中で、わが国の登山史の主要な舞台となってきました。

登山の大衆化が進み、レジャーとして定着した現代においても槍・穂高連峰を核とした北アルプスは、登山者憧れの山域であり、その登山基地である上高地は、アルピニストの聖地と言えます。

■上高地は、標高や盆地状などの特殊な環境を有しており、ケシヨウヤナギの河畔林やハルニレなどの湿性林、シラビソなどが優占する美しい亜高山帯針葉樹林、ニリンソウ群落や各種高山植物などの多様な植物社会を形成しています。また、クモマツキチョウ、オオイチモンジなどの高山蝶や鳥類、ニホンライチョウ、オコジヨ、ニホンカモシカなど貴重な動植物が生息する豊かな生態系を作りあげています。

■上高地の最大の魅力は、穂高連峰に代表される荒々しく聳え立つ岩稜、清冽な梓川などの清流、大正池・田代池、明神池などの池沼、山麓一帯に広がる森林などが織りなす類まれな山岳景観です。まさに、豪壮と繊細、厳しさと優しさが見事に調和した上高地は、どの季節でも人々を魅了し、圧倒し、心の奥深くを揺り動かします。

■かつて、木材生産や放牧の場であった上高地は、我が国屈指の山岳景勝地として 1934 年に中部山岳国立公園に指定され、昨年 80 周年を迎えました。また、特別名勝・特別天然記念物に指定(この両方に指定されているのは、上高地のほか 1 か所のみ)されており、その保護と活用が図られています。

■現在、上高地は、「上高地を美しくする会」による美化清掃活動を始め、マイカー規制、登山道の維持管理など、関係者が一丸となった不断の先進的な取り組みにより、全国の国立公園のモデルとなり、また、信州を代表する山岳観光地となっています。

2 山の日制定の背景

日本人は古くから山々に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝しその恵みを楽しんで生きてきました。山の恩恵は清流を生み、わが国を囲む海へと流れ、日常生活と関わりながら人々の心をも育ててきました。わが国の文化は、「山と海の文化」の融合によって、その根幹が形成されたといわれています。「山の日」は美しく豊かな自然を次世代に引き継ぐことを銘記する日として、祝日「海の日」と相まって国民が山との深い関わりを考える日とするために制定されました。

[年表]

年月	内 容
S36. 7	「夏の立山大集会・登山教室」山の日制定を決議
S42. 7	今上天皇陛下皇后陛下御家族の皆様が御静養を兼ねて上高地を御散策
H13. 10. 7～9	「2001世界岳都会議」を松本市で開催
H14. 10. 18～20	国際山岳年 環境省他が、「山と自然のシンポジウム」を松本市で開催
H15. 12	長野県議会から国へ「海の日・山の日」制定の意見書を提出
H19. 2	長野県議会山岳環境保全協議会対策議員連盟による要請
H22. 4	山岳5団体による「山の日」制定協議会が発足
H23. 11	長野県から林野庁に対して「山の日」制定を提案
H23. 11. 20	岳都・松本「山岳フォーラム 2011」開催（山の楽しみや恩恵を周知するとともに、国民の祝日となる「山の日」制定の機運を高めることを目的）
H23. 10. 25	関東地方知事会で「山の日」制定について栃木県から提案、国に対し要請
H24. 1	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議による要請
H24. 5	関東甲信越1都9県議会議長会による要請（長野県議会提案）
H24. 5～7	長野県知事から国に対して国民の祝日としての「山の日」制定を要請
H24. 8. 6	中部圏知事会議で「山の日」制定について長野県が提案、国に対し要請
H24. 10. 3	「山の日」ネットワーク東京会議に長野県、松本市も参加
H24. 10. 23	関東地方知事会で「山の日」制定を長野県から提案
H24. 11. 25	岳都・松本「山岳フォーラム 2012」開催
H24. 11. 7	中部圏知事会議で「山の日」制定について長野県が提案、国に対し要請
H25. 1	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議による要請
H25. 4	国会議員による超党派「山の日」制定議員連盟（以下「議員連盟」）発足
H25. 5. 22	関東地方知事会で「山の日」制定について長野県から提案、国に対し要請
H25. 8. 9	中部圏知事会議で「山の日」制定について長野県が提案、国に対し要請
H25. 9. 9～10	議員連盟による上高地視察研修（10.9～10：大分県視察研修）
H25. 10. 30	議員連盟総会「8月12日」を候補日とする案発表
H25. 11. 7	議員連盟総会「8月12日」に対する群馬県上野村長らの日航機墜落事故の日であることによる異論に対し、再検討
H25. 11. 11	全国「山の日」制定協議会設立 長野県、松本市も参画（平成26年5月28日「全国『山の日』協議会と改称」）
H25. 11. 16～20	岳都・松本「山岳フォーラム 2013」開催
H25. 11. 22	議員連盟総会「8月11日」を候補日とすることで了承
H25. 12. 19	全国知事会で国民の祝日としての「山の日」制定に協力願いたい旨発言があり場内了承
H26. 1. 24	議員連盟総会「国民の祝日に関する法律」改正法案を了承
H26. 5. 23	祝日法改正案が可決成立
H26. 7. 14	「信州 山の日」は7月の第4日曜日とし、「信州山の月間」は7月15日から8月14日とする旨の長野県報公告
H26. 8. 10～12	「山の日」制定記念行事が上高地ほかで開催
H26. 11. 29～30	岳都・松本「山岳フォーラム 2013」開催
H27. 3. 24	議員連盟が、第1回「山の日」を記念する全国大会（以下「全国大会」という。）開催地の上高地決定、開催支援を求める要望書を内閣官房長官へ提出
H27. 3. 28～29	全国「山の日」フォーラムが東京都内で開催され、松本市出展
H27. 5. 15	全国大会開催地の上高地決定に向け、長野県、松本市及び上高地町会が連名で協議会及び議員連盟へ要望書を提出
H27. 5. 22	協議会通常総会で、上高地を全国大会の開催地とすることを承認
H27. 10. 1	「山の日記念大会推進室」を松本市に設置